

経済指標レポート 第244号

(社) 関西経済連合会 経済・経営グループ (担当: 壺井)

Tel: 06-6441-0102 Fax: 06-6441-0443

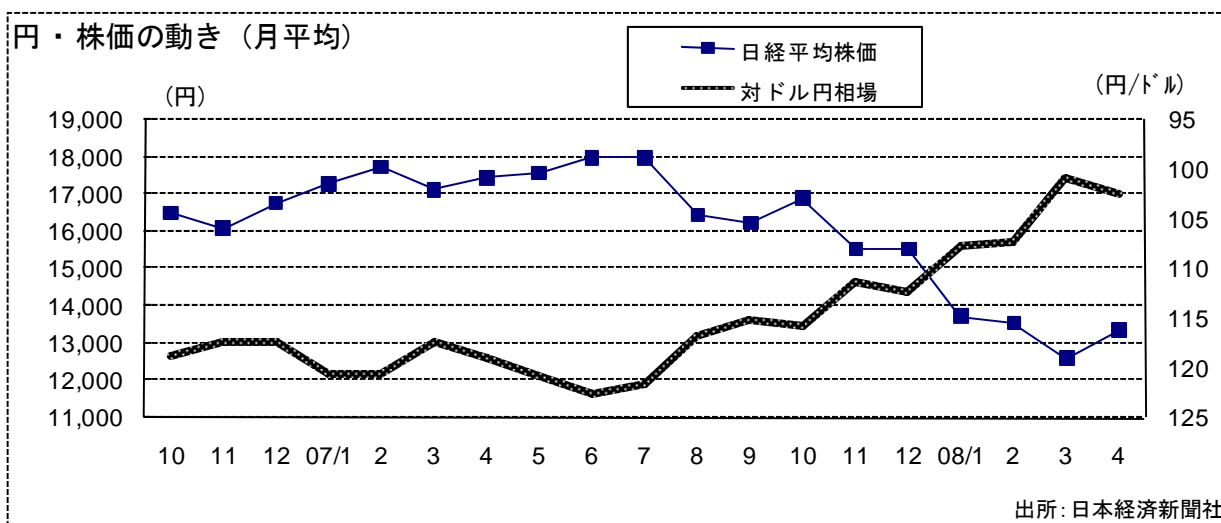
財団法人関西社会経済研究所が今月発表した 2007 年度の「関西のプロジェクト動向調査」(敷地面積 1ha 以上、事業費が判明している場合は 10 億円以上の地域開発事業。国際的なイベントや博覧会を含む)によると、2007 年 12 月末時点のプロジェクトは、件数では 4 件減少したものの、事業費は 0.8 兆円の増加となった。また、2007 年の新規プロジェクトは、件数では前年度比 10 件減少したものの、事業費判明分 38 件の平均事業費は 414 億円となり、これまでの最高であった 1995 年の 340 億円を大きく上回る結果となった。

その要因は、①企業収益の好調を背景に工場や物流施設等の立地件数が高水準で推移したこと、②都心部・郊外ともに商業施設の出店・建て替えが活発であったこと、③大阪都心部にて超大型ビルの建て替え計画が本格化したことである。具体的には、大阪・神戸のベイエリアにおける薄型テレビ関連工場への投資、百貨店の増床・建て替え、さらには鉄道新線開業に伴う沿線エリアの再開発(超大型オフィスビルの建設など)などが挙げられる。

関西経済は今、“再生”から“新たな発展”へ向けて動き出す変革の時にある。一方で企業活動を取り巻く環境が変化するスピードは加速を続けており、少子高齢化・人口減少やグローバルな経済競争など、地域経済が対峙していかなければならない課題は多い。

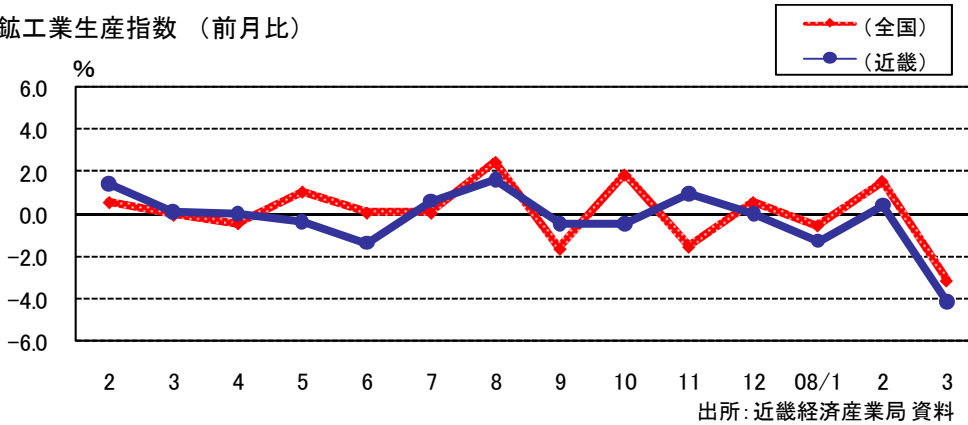
しかし、新たな関西の未来の創造に向けて今確実に動き始めている波を加速させ、着実に発展できるよう、地域全体で強い志を共有していくことが必要である。

各指標の動き



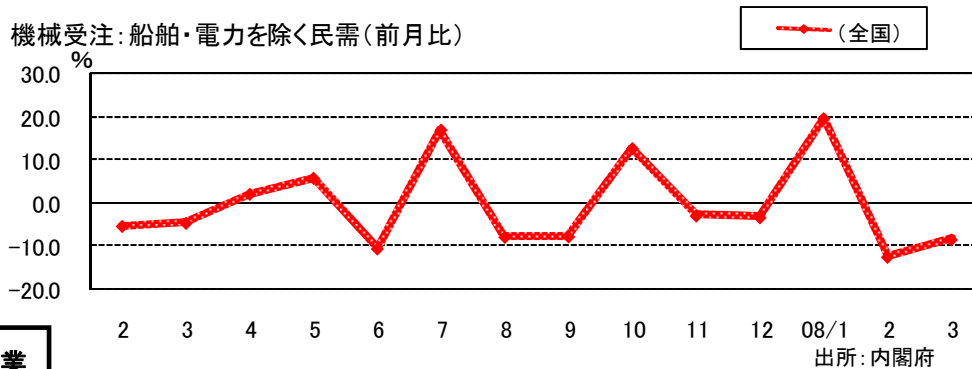
生産・機械受注

鉱工業生産指数（前月比）



◇近畿は前月比 4.1%減と 2 ヶ月ぶりに低下。一般機械工業、情報通信機械工業、化学工業（医薬品除く）の低下が影響。品目別ではコンベヤ、ガスタービン、携帯電話の順に低下に影響。

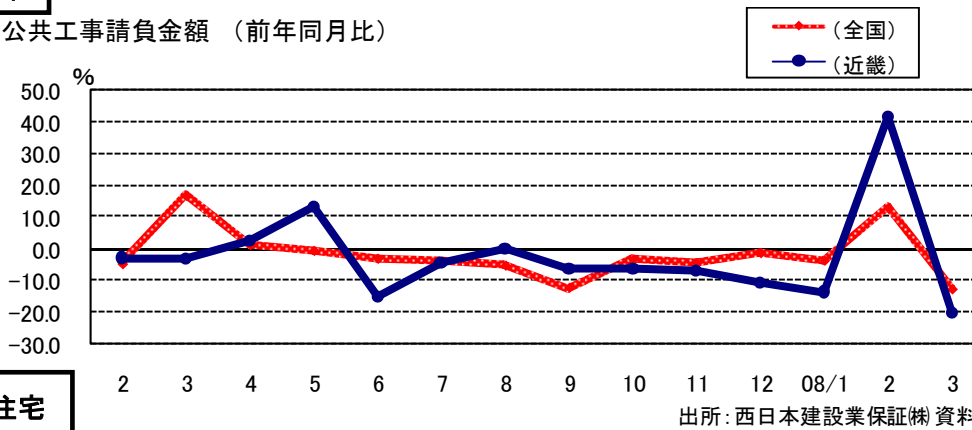
機械受注：船舶・電力を除く民需（前月比）



◇機械受注は前月比 8.3%減となった。業種別の受注は製造業が同 7.0%減、非製造業（船舶・電力を除く）が 9.5%減となった。

公共事業

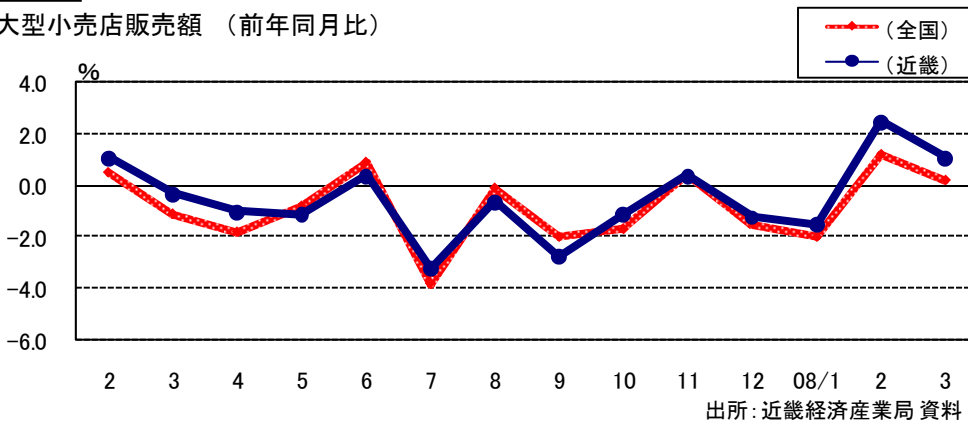
公共工事請負金額（前年同月比）



◇近畿は前年同月比 19.9%減。発注者別では、「府県」が大阪府の前年度大型工事（警察本部棟新築工事等）の反動減のほかすべての地域出前年度を下回った。

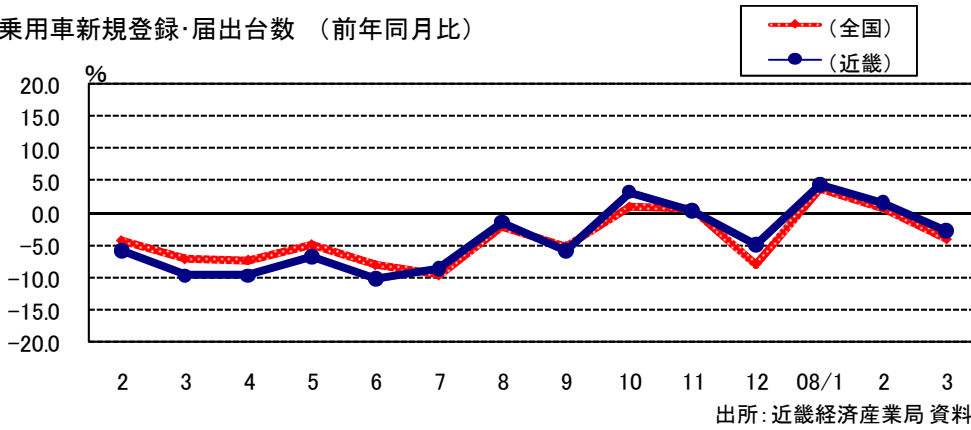
消費・住宅

大型小売店販売額（前年同月比）



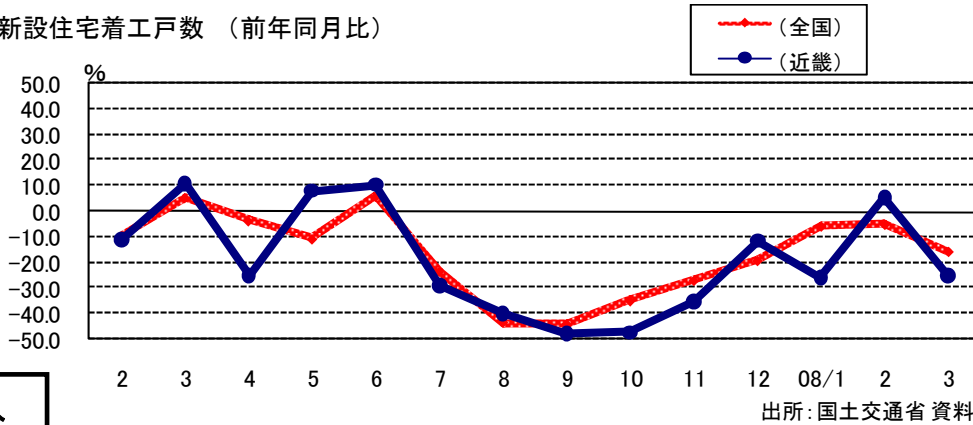
◇近畿は既存店ベースで前年同月比 1.1%増と 2 ヶ月連続のプラス。昨年より日曜日が 1 日多かった効果もあり。業態別ではスーパーが同 2.2%増、百貨店が同 0.2%減。

乗用車新規登録・届出台数 (前年同月比)



◇近畿は前年同月比2.6%減と3ヶ月ぶりに前年を下回った。普通車が9ヶ月連続で前年を上回ったものの、小型車が24ヶ月連続で、軽四車が12ヶ月連続でそれぞれ前年を下回った。

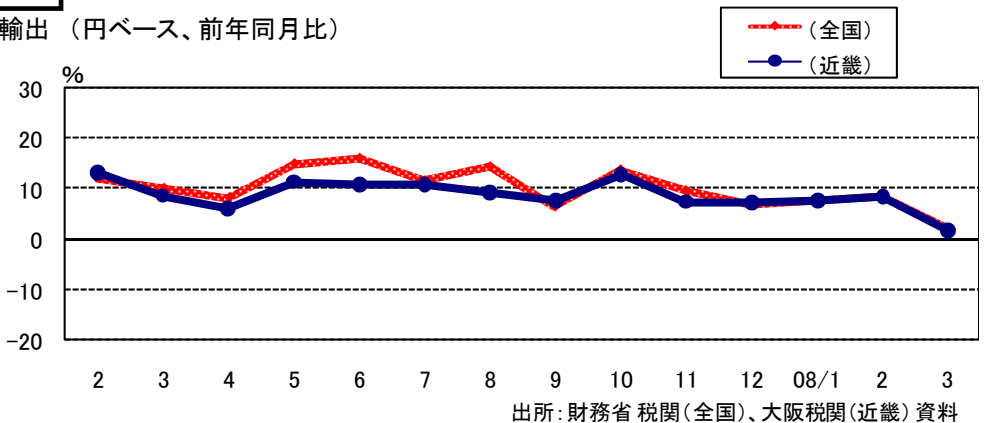
新設住宅着工戸数 (前年同月比)



◇近畿は前年同月比24.9%減となり2ヶ月ぶりに前年を下回った。分譲住宅が9ヶ月連続、持家が14ヶ月連続、貸家が2ヶ月ぶりにそれぞれ前年を下回った。

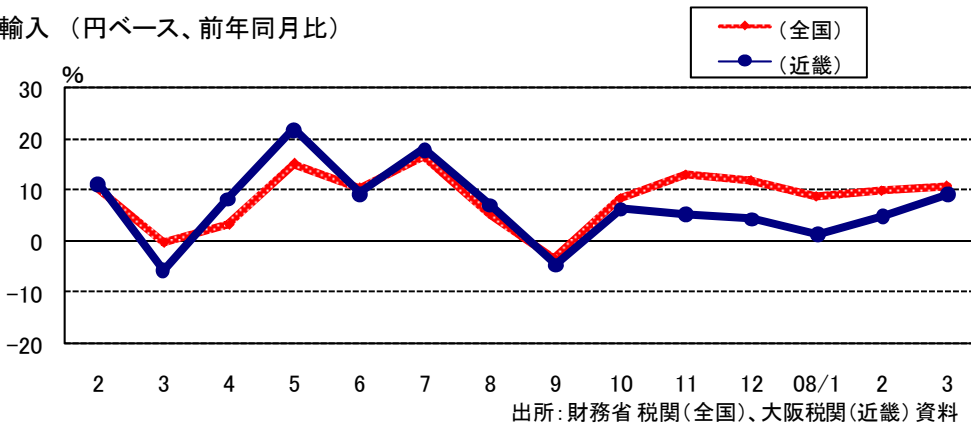
輸出入

輸出 (円ベース、前年同月比)



◇近畿は前年同月比1.7%増で72ヶ月連続のプラスとなった。建設用・鉱山用機械、鉄鋼、プラスチック、通信機、荷役機械が増加。ただし、米国向けの伸び率は5ヶ月連続のマイナス。

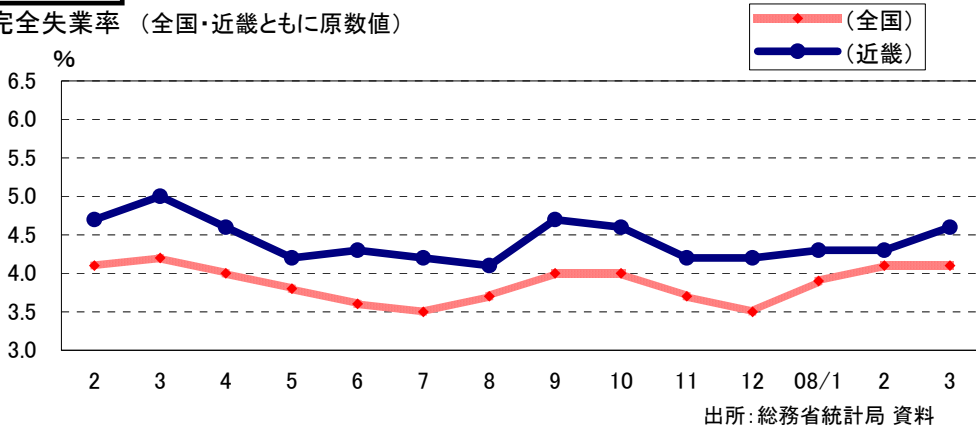
輸入 (円ベース、前年同月比)



◇近畿は前年同月比9.3%増となり、6ヶ月連続のプラスとなった。原油、液化天然ガス(LNG)の単価の上昇などにより輸入額が増加。中国からの伸び率が5ヶ月ぶりにプラス(ただし食料品はマイナス)。

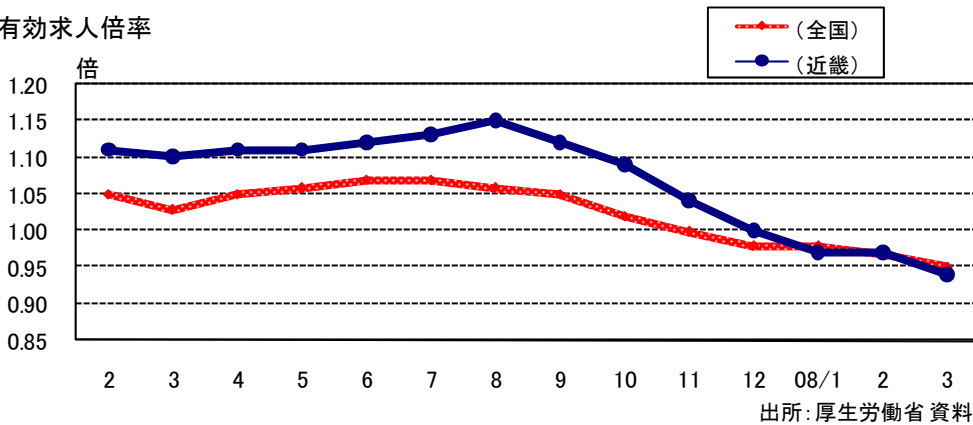
雇用・倒産

完全失業率（全国・近畿ともに原数値）



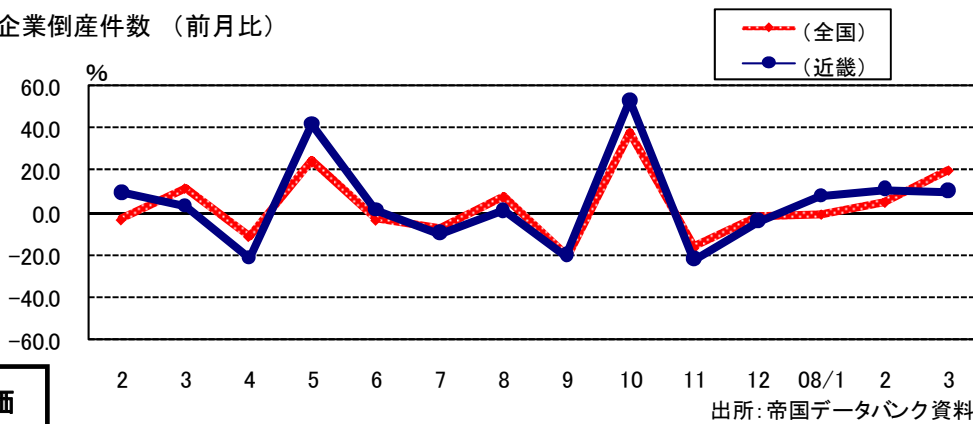
◇近畿の完全失業率は4.6%で、3ヶ月連続で前年を下回った（前年同月は5.0%）。全国4.1%。

有効求人倍率



◇近畿は前月から低下し、0.94倍となった。7ヶ月連続の低下。改善の動きが停滞している。

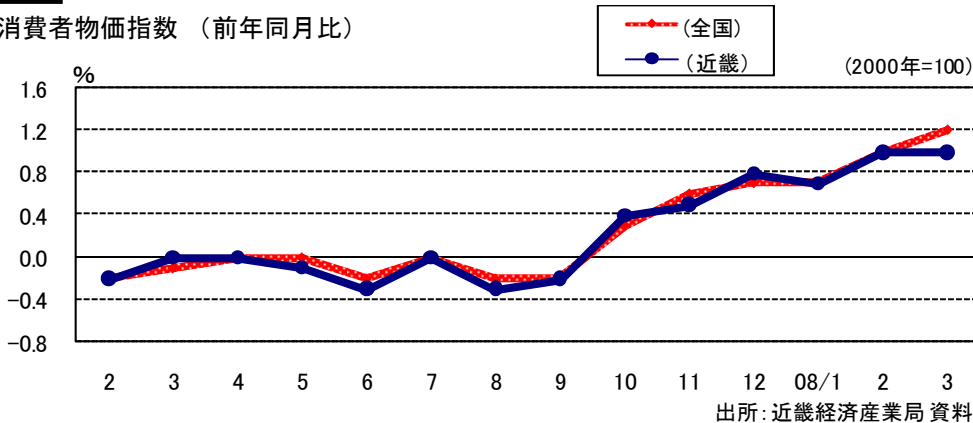
企業倒産件数（前月比）



◇近畿の倒産件数（法的整理による倒産）は前月比10.5%増。業種別構成比では建設業が26.9%、次いでサービス業が22.5%と両者でほぼ半数を占めている。

物価

消費者物価指数（前年同月比）



◇近畿は100.7で前年同月比1.0%増。6ヶ月連続で上昇している。交通・通信、光熱・水道、食料などが上昇している。